




# 令和3年 **1**月の**優しさ**通信

## 目次

- (1)  バリアフリー化「計画」15%どまり 公立小中の校舎や体育館
- (2)  高齢者4人に1人 買い物弱者
- (3)  医療的ケア児 10年で2倍

## ♥今月の福祉用具－衣服の管理 被服の保管

### (1) バリアフリー化「計画」15%どまり

#### 公立小中の校舎や体育館

\*公立小中学校の校舎や体育館などをバリアフリー化する計画をまとめた教育委員会などは、全国で15%。

\*バリアフリー法改正で、2021年4月以降に公立小中で校舎の新築や増改築の際に車椅子使用者用トイレなどの整備が義務付けられます。

\*文科省は2025年度末までに、校舎内や屋内運動場での整備率を車いす使用者用トイレ95%、スロープ100%とする目標。

\*全国の公立小中28000校の整備の現状は、校舎に車いす使用者用トイレがある学校は65.0%。

スロープの整備率は、校門から校舎の前までが78.3%、校舎の出入り口などから教室までは57.2%。

(2020年12月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (2) 高齢者4人に1人 買い物弱者

\*スーパーやコンビニなどへの直線距離が500m以上あり、自動車を利用できない65歳以上を、農林水産省は「食料品アクセス困難人口」(買い物弱者)と定義。

\*2015年の買い物弱者は、2005年に比べ約2割増の約824万人。

高齢者の4人に1人に相当し、3大都市圏が4割を占めます。

\*移動販売を手掛ける事業者への補助制度を設ける自治体もあります。

(2020年12月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (3) 医療的ケア児 10年で2倍

\*全国に推計4万3千人いる重度障がい者の約7割が自宅で暮らし、施設は約3千人が入所待ち。

\*在宅の医療的ケア児（0~19歳）は、2018年時点で推計約2万人。

新生児医療の発達で救われる命が増え、10年で1.9倍に。

\*厚生労働省が親などに行った調査では、ケアを依頼できる人が自分以外に

「いない」との回答が37.6%、40.8%が子供から「5分以上目を離せない」

と答えました。（2020年12月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



## 今月の福祉用具－衣服の管理

## 被服の保管

\*保管時にはカビ・虫害を避けるために、温度・湿度・清潔に注意。

### ①乾燥剤

\*カビの予防として、汗・その他の汚れを落とし湿度を50%前後に保ちます。

\*目に見えなくても一度着用すると汚れは衣服に付着するので、長期に保管する際は必ず選択すること。

\*特に湿度の影響を受けやすい皮革・絹などには、市販の乾燥剤の使用も効果があります。

### ②防虫剤

\*虫害の条件は、高温・高湿度・汚れです。

\*防虫剤には、ナフタレン、パラゾール、樟脳、ピレスロイド系合成剤などがあります。

\*樟脳は絹物に使用されます。

\*これらの防虫剤を一緒に使用すると、液化して衣類にシミを作ります。

\*ピレスロイド系合成剤は他のものと共用できます。

### ③寝具のダニ・カビ汚染

\*ダニは塵や埃の中にいることが多くあります。

\*寝具には特にふけや垢の汚染が多く、ダニの温床に。

布団干し、布団乾燥機、布団の丸洗いなどで対処。

\*カビは湿度70%以上で発生。

\*クリーニングから戻った衣類も、一度ビニールの袋から出し、乾燥させてから保管を。

\*寝室は日当たりのよい、風通しのよい環境に。

（参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより）

